



Rotary  
第2730地区



宮崎中央ロータリークラブ  
ROTARY CLUB of MIYAZAKI-CHUO

# 週報

今月のテーマ 『経済と地域社会の発展月間』・『米山月間』 第1405回例会

2015年10月22日 Vol.30/No.16

## ■本日の例会

第1406回 平成27年10月29日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 宮日美展報告…講評・受賞者紹介 篠原委員長
- 受賞者卓話
- 会員卓話…高野広美 会員

## ■前回の例会

第1405回 平成27年10月22日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 米山奨学について…田島直也 委員長
- 会員卓話…鈴木克信 会員

## 【出席率状況報告】

- ・会員数 51名
- ・出席者 36名
- ・欠席者 15名
- ・出席率 72.00%
- ・18/60補正出席率 88.00%

## ■会長挨拶

会長 藤原昭公



皆さん、こんにちは。

先週、土曜日、日曜日は2730地区の地区大会が延岡で開催されました。当クラブの参加者は18名でした。第1本会議は12時45分にスタートしました。RI会長代理のベリンダ・キャンさんが体調不良で欠席となり、代わりに2770地区バスターガバナー中村靖治さんが代理として軽妙洒落なウィットに富んだ挨拶をされました。当日の目玉のジャーナリスト桜井よしこ氏による記念講演も分かり易い優しい語り口と興味深い話であったという間の1時間でした。第2本会議も中村靖治RI会長代理と田中作次2012-13年度RI会長、野中玄雄ガバナーの特別セッションは聞きごたえのある内容でした。全体的に延岡東RCのメンバーの頑張りが素晴らしく、彼らの意気込みが伝わってくる素晴らしい大会でした。

一昨日、中部分区の会長幹事会がありました。その中で、西都RCから11月7日に開催予定のIMについて参加協力のお話がありました。今年3月14日に当クラブが担当クラブとして平松実行委員長のもと、会員の皆さんのご協力を頂き、成功裡に終わったことは記憶に新しいことです。西都RCも大変頑張って準備を進めているようです。参加申込み期限は、過ぎましたが、まだ受け付けて頂けるようです。一人でも多くの皆さんのご参加をよろしくお願い致します。

## ■幹事報告

幹事報告は無しです。

## ■委員会報告

ローターアクト委員長 黒木雄一



「ひむかかたる通信第五号」と「ひむかかたるリーフレット」のご案内

宮崎中央ロータリークラブにおかれましては、ひむかかたる事業に格別のご配慮を賜りまして誠にありがとうございます。ご承知のように、私どもは宮崎市内の子供たちを対象にひむかかたるの普及活動を進めております。お陰様で、かるたも確実に子供たちの日頃の生活の中に根付き始めました。これを踏まえ、私どもとしても、より一層の普及をめざし、努力しているところです。

さて、最近のひむかかたる普及活動をまとめた「ひむかかたる通信第五号」と、PR用の「ひむかかたるリーフレット」を作成いたしました。

つきましては、ご一読いただき、今後のかるたのご指導にお役立て頂ければと存じます。

今後とも、変わらぬご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## ■長沼真美様からのお知らせ

担当カウンセラー 押川敏一郎 会員



ロータリー財団国際奨学生  
長沼様から、下記の演奏会のお知らせが参りました。

「金木犀が香る快い秋となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。来年の演奏会のチラシを送らせていただきます。

有難く後援も頂き、お客様に楽しんで頂けるよう心を込めて演奏致します。長沼真美」

東日本大震災復興支援を含めた演奏会です。宮崎中央ロータリークラブ後援のクレジットが入ったパンフレットになっておりますので、皆様のおたのしみご支援よろしくお願い致します。

■ロータリー米山月間（10月）

ーロータリー米山記念奨学事業についてー



委員長 田島直也

10月はロータリー・米山月間です。財団法人米山記念奨学会は日本特有のもので、外国から来日し我国の正規の学校、研究機関に在籍する外国人留学生に対し奨学金を支給し、国際理解と親善に寄与する目的のものです。これは、米山氏の功績を記念して作られた財団です。

米山梅吉氏（1868～1946年）は教育への情熱をもち、滞米8年間働きながらの苦学生を送り、その後、三井銀行等を経て東京RC設立・初代会長を務められ、その後私財を投じて緑岡小学校設立やアジア各地からの留学生を私費で支援され、「すべて人にせられんと思うことは人にもまたその如くせよ」をモットーにされています。1952年東京RCで米山基金試案が発表、1957年全国組織の「ロータリー米山奨学委員会」が設立されています。

奨学生選考について、奨学生は日本と母国の懸け橋となり、国際親善・交流、平和のつくり手の人材育成と、学業・相互国間の文化理解・コミュニケーション能力を重視して選考され、約730名が奨学生になっています。

又、各奨学生に対し世話クラブとカウンセラーが決められています。

世話クラブは、奨学生は「世話クラブ」となるロータリークラブの例会に月1回以上出席し会員と交流します。カウンセラー制度は、世話クラブの会員の一人が「カウンセラー」として、相談役、交流の橋渡しとなり、指導教官との連携を行います。

奨学生の責務として、①世話クラブの例会に月1回以上出席、会員との交流、②研究・留学生生活に関するスピーチ（卓話）の協力、③地区及びクラブの行事や奉仕活動への参加、④米山記念奨学会への年2回のレポート提出があります。

学友会組織は米山奨学生終了者で組織され、日本以外にも韓国、中国（華北、上海）、台湾、モンゴル、ネパール、タイにあり、各国の学友会と連携を取って奨学生の受け入れを行っています。

米山奨学生の財源は日本のロータリアンからの寄付で成り立っています。

寄付は義務ではありませんが、1967年文部省（当時）に財団申請をした時、財団に安定収入が無いことを指摘され、全国クラブから普通寄付金の確約をとり、一定収入があることで財団認可を得た経緯があります。寄付はこの普通寄付と任意の特別寄付で成り立っています。

2014年度の全国個人平均寄付は15,996円で、2730地区は10,349円でした。今年度は地区の年度目標1人15,000円（普通寄付上・下期各2,500円、特別寄付1人10,000円）を目標にしています。

御理解、御協力の程、よろしく申し上げます。

出席委員会報告 委員長 草田哲也

◆10/8メイクアップ者名（敬称略）

押川絃一郎、草田哲也、黒木陽子  
橋口義春、松山春喜、山川 力



会員卓話

鈴木克信 会員



みなさん こんにちは！

一般社団法人日本幸加齢フォーラム 通称 ジェイファ で理事長をしております鈴木です。

宮崎中央ロータリークラブに参加させて頂いて、1年数か月が経ちました。多くの先輩方ともお知合になり、大変感謝しております。また、私の社団の活動に、多くの方々に、ご賛同頂き、この1年余りを楽しく過ごさせて頂いております。

ただ、私の社団について、まだマイチ良く分からない集団だと思われる節もありますので、今日は、貴重な皆様のお時間を拝借して、私どもの「正体」を皆様にご披露させていただきます。

まず、直近ではありますが、この10月10日に私どもがお手伝いした都城・三股町にあります学校法人豊栄学園 都城東高校の創立50周年式典で制作しました、この学校のPRビデオを見て頂きます。4分の短い作品ですが、式典では、好評得ることができました。

私たちの社団の「幸加齢」(ハッピーエイジング)と、学校の50周年記念ビデオ制作とどんな関わりがあるかと不思議に思われる方も多いかと思いますが、古くなった学校のシステムを革新することも、私たちのミッションとっております。個人だけでなく社会の良き発展に寄与することも、私たちの社会貢献ではあります。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市富田町10-25 富田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30～13:30)  
会長/藤原昭公 副会長/香川美穂子 幹事/田中 寿  
クラブ会報委員会/委員長:新地康宏 副委員長:江口徹一 委員:鈴木克信、長友久人、小西明美、川崎孝幸